



大阪市政記者クラブ 御中

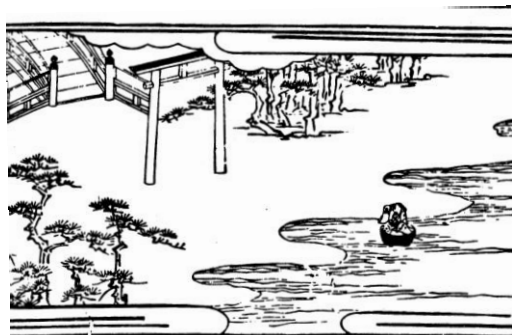
平成 29 年 6 月 29 日  
大阪市立大学

## 大阪港開港 150 年記念講座 「難波津、住吉津、河港都市から大大阪築港」 を開催します

平成 29 年 7 月、大阪港は開港 150 年を迎えます。その記念事業の一環として、平成 29 年 8 月 19 日（土）に海遊館ホールにて、大阪港開港 150 年記念講座「難波津、住吉津、河港都市から大大阪築港」を開催します（大阪市立大学地域連携センター・大阪港開港 150 年記念事業推進委員会 共催）。

瀬戸内海に面し、淀川や大和川など多くの河川に恵まれた大阪は、古くから『水の都』と謳われてきました。しかしその様相は、時代によって大きく変化しています。地形の変化だけでなく、水路の開削や治水事業によって新たな町がつくられ、発展していった人工都市が大阪です。本講座では、大阪市立大学の教員が、文学・歴史学・都市開発計画というそれぞれの専門分野の観点から、大阪港の歴史について語ります。また、最後には講師全員によるクロスディスカッションを行い、河港都市大阪の魅力・実力を改めて確認します。

海と陸をつなぐ最大の物流の結節点であり続けた大阪港の歴史について振り返るとともに、市民の皆さまにその恩恵を再認識し、大阪港への愛着を深めていただくことを目的としたイベントです。



↑ 渋川版御伽文庫『一寸法師』挿絵  
（三弥井書店刊『御伽草子 No.19』）  
→ 『大阪上町台地の総合的研究』古地理図(古代)  
（画像提供：大阪文化財研究所）



↑ 吉田初三郎画の鳥瞰図から（1932年）

### 記

- 1 日 時 平成 29 年 8 月 19 日（土）13 時 30 分～16 時 30 分（開場 12 時 30 分）
- 2 会 場 海遊館ホール（大阪府大阪市港区海岸通 1 丁目 1-10）  
（大阪市営地下鉄「大阪港」駅 1 番出口より徒歩約 5 分）  
アクセス：<http://www.kaiyukan.com/info/access/>
- 3 講 師
 

小林 直樹 仁木 宏 水内 俊雄	<small>こばやし なおき</small> <small>に き ひろし</small> <small>みずうち としお</small>	（大阪市立大学 文学研究科 教授） （大阪市立大学 文学研究科 教授） （大阪市立大学 都市研究プラザ 兼 文学研究科 教授）
------------------------	--	---

4 プログラム

- 12:30 開場  
13:30 開会あいさつ（大阪市港湾局）  
13:40 「信仰空間としての難波の海」／小林直樹教授  
14:20 「古代・中世・近世の都市大坂と港湾ー地形からさぐる港町の変遷ー」／仁木宏教授  
15:00 休憩  
15:10 「河港から外港への大転換と大大阪の発展」／水内俊雄教授  
15:50 講師3名によるディスカッション「河港都市大阪の魅力・実力の再発見」  
16:20 閉会あいさつ（大阪市立大学）  
16:30 終了

5 定 員 250名（申込必須・先着順）

6 費 用 無 料

7 申込締切 平成29年7月28日（金）必着

8 申込方法 <Web>

下記URLよりお申し込みください。

URL：<https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/openlectures/view/258>

<往復はがき>

往信面に住所・氏名（フリガナ）・年齢・電話番号、

返信面の宛先に住所・氏名を明記の上、下記申込先まで送付してください。

返信はがきにて受講の可否をお知らせいたします。

◆申込多数の場合は先着順とし、期限内であっても受付を締め切る場合がございます。

◆申込時にご記入いただきました個人情報は当講座に関するご連絡および  
受講状況の分析のみに利用し、第三者に提供・開示することはありません。

9 申 込 先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学 地域連携センター 大阪港150年記念講座係

10 共 催 大阪市立大学 地域連携センター・大阪港開港150年記念事業推進委員会

11 参 考 ※大阪港開港150年記念事業の全体概要については、  
大阪市港湾局のWebサイトをご覧ください。

URL：<http://osakaport150.info/>



【本件に関する問合せ先】

大阪市立大学 地域連携センター

担当：澤田・阿部

TEL：06-6605-2068 FAX：06-6605-3505

E-mail：[shidai@ado.osaka-cu.ac.jp](mailto:shidai@ado.osaka-cu.ac.jp)

URL：<https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/4c/>



淡川版御伽草子『一寸法師』挿絵(二弥井書店刊『御伽草子No.19』)

「大阪上町台地の総合的研究」(画像提供:大阪文化財研究所)

吉田初三郎画の鳥瞰図から(1932年)

大阪港開港150年記念講座

# 難波津、住吉津、河港都市から 大大阪築港

## ■プログラム

- 13:30~13:40  
開会挨拶 (大阪市港湾局)
- 13:40~14:20  
「信仰空間としての難波の海」  
小林 直樹 (大阪市立大学 文学研究科 教授)
- 14:20~15:00  
「古代・中世・近世の都市大坂と港湾  
— 地形からさぐる港町の変遷 —」  
仁木 宏 (大阪市立大学 文学研究科 教授)
- 15:10~15:50  
「河港から外港への大転換と大大阪の発展」  
水内 俊雄 (大阪市立大学 都市研究プラザ兼文学研究科 教授)
- 15:50~16:20  
【講師3名によるディスカッション】  
「河港都市大阪の魅力・実力の再発見」  
ファシリテーター: 水内 俊雄
- 16:20~16:30  
閉会挨拶 (大阪市立大学)

参加無料  
(事前申込制)  
定員: 250名

日時: 2017年8月19日(土) 13:30~16:30(開場12:30)

会場: 海遊館ホール (大阪市港区海岸通1-1-10)

大阪市立大学  
共催: 地域連携センター



大阪港開港150年  
記念事業推進委員会

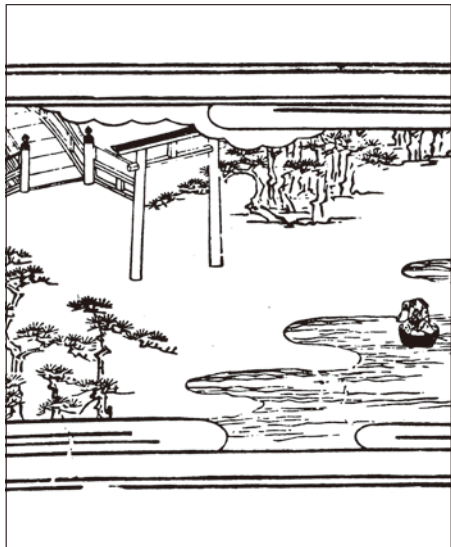


# 難波津、住吉津、河港都市から大大阪築港

瀬戸内海に面し、淀川や大和川など多くの河川に恵まれた大阪は、古くから『水の都』と謳われてきました。しかしその様相は、時代によって大きく変化しています。地形が変化しただけでなく、水路の開削や治水事業によって新たな町がつくられ、発展していった人工都市が大阪なのです。この講座では、大阪市立大学の教員が、文学、歴史学、都市開発計画というそれぞれの専門分野の観点から、大阪港の歴史について語ります。

また、最後には講師全員によるクロスディスカッションを行い、河港都市大阪の魅力・実力を改めて確認します。

海と陸をつなぐ最大の物流の結節点であり続けた大阪港。その歴史について振り返るとともに、その恩恵を再認識し、愛着を深めていただければと思います。大阪にお住まいの方、歴史に興味のある方、海が好きなお方など、どなたでもお気軽にお越しください。



波川版御伽文庫『一寸法師』挿絵(三弥井書店刊『御伽草子No.19』)



「大阪上町台地の総合的研究」(画像提供:大阪文化財研究所)



吉田初三郎画の鳥瞰図から(1932年)

## 信仰空間としての難波の海

小林 直樹(大阪市立大学 文学研究科 教授)

茅渚の海に流れ寄る霊木、祓えの場、行基伝承と難波津、四天王寺西門信仰と浄土の海、江口の遊女の聖性、住吉神の霊験発動など、古代中世の古典テキストを通して信仰空間としての難波の海を照射する。



小林 直樹(こばやし なおき)

京都大学文学部助手を経て、1993年より大阪市立大学。専門は中世国文学。日本中世の説話文学研究、とりわけ現在は、鎌倉期の通世僧が形成する禅律文化圏と説話伝承世界との交渉の問題を主要な研究テーマとしている。著書に『中世説話集とその基盤』(和泉書院、2004年)。

## 古代・中世・近世の都市大坂と港湾 — 地形からさぐる港町の変遷 —

仁木 宏(大阪市立大学 文学研究科 教授)

古代の難波津、中世渡辺から大坂本願寺、大坂城下町にいたる都市の発展過程において、淀川の河港はいつも中心核のひとつであった。地形分析や発掘調査、文献史料などから港湾と都市大坂の誕生と発展を解明する。



仁木 宏(にぎひろし)

園田学園女子大学を経て、1996年より大阪市立大学。専門は日本中世史。本願寺寺内町から豊臣期大坂城・城下町にいたる大坂の歴史をはじめとして、15～17世紀の都市史、大阪地域史を専攻する。中世港町については、共編著『中世日本海の流通と港町』(清文堂出版、2015年)あり。

## 河港から外港への大転換と大大阪の発展

水内 俊雄(大阪市立大学 都市研究プラザ兼文学研究科 教授)

開港後神戸に遅れを取った挽回に、外港として1903年に大阪築港に打って出た。同時に開通した市電とともに、都市開発は港湾局、電気局事業が主導することになった大大阪の発展を、港湾地区開発とあわせてひもとく。



水内 俊雄(みずうち としお)

九州大学、富山大学を経て、1995年より大阪市立大学。専門は、近代都市の形成の空間的系譜を紐解く歴史地理学、都市史研究。現在は都市問題の側面を扱う、ホームレス問題や居住福祉、NPOに関わる政策支援研究に重心を置く。編著『モダン都市の系譜』(ナカニシヤ出版、2008年)。

講師3名による  
ディスカッション

## 河港都市大阪の魅力・実力の再発見

ファシリテーター: 水内 俊雄(大阪市立大学 都市研究プラザ兼文学研究科 教授)

### 会場アクセス



海遊館ホール 大阪市港区海岸通1-1-10 □大阪市営地下鉄「大阪港駅」①番出口より徒歩約5分

### お申し込み方法

[Web] 下記URLよりお申し込みください。

<https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/openlectures/view/258>

[往復はがき] 往信面に住所・氏名(フリガナ)・年齢・電話番号、返信面の宛先に住所・氏名を明記の上、下記申込先まで送付してください。返信はがきにて受講の可否をお知らせいたします。

お申込先 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138

大阪市立大学 地域連携センター 大阪港150年記念講座係

[申込締切] 平成29年7月28日(金)必着

- ◆申込多数の場合は先着順とし、期限内であっても受付を締め切る場合がございます。
- ◆申込時にご記入いただきました個人情報は当講座に関するご連絡および受講状況の分析のみに利用し、第三者に提供・開示することはありません。

### 連絡先

大阪市立大学地域連携センター

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 TEL:06-6605-2068 FAX:06-6605-3505

E-mail: shidai@ado.osaka-cu.ac.jp URL: <https://www.connect.osaka-cu.ac.jp/4c/>